

大分教育事務所訪問②-41 (計114)

## 大分市立神崎小学校に学ぶ2

### 学校経営から学ぶ

本校の素晴らしい点は、これまでの実践をとおして、2学期の重点的な課題を「①育成を目指す資質・能力を踏まえた授業改善」と「②子どもの自己肯定感の育成」に絞り込み、教職員や家庭、地域の重点的取組や取組指標の実施状況に加え、そのような取組により子ども達がどのように成長したかという、達成状況についても毎月分析を行い、学期末に向けた改善策を明確にしているところです。

今後は、それぞれの行事や日々の授業において、なんのために行くか、子ども達が何ができるようになったか。どんな力がついたか等、子どもにどのような資質・能力をつけるかを明確にし、評価をされると良いと思います。

そして、そのような、資質・能力を踏まえた実践を重ねることで、「友達の考えや言いたいことを理解しあう」ような、学校として育成を目指す(教科横断的な)資質・能力について定めてみてはいかがでしょうか。また、教職員の実施率が100%となっている項目につ

いては、より焦点化した内容にするか、他の方策に転換または廃止することも検討されてみてはいかがでしょうか。



NO.519 2021年11月 大分市立神崎小学校

## 認め合う

相手の考えを受け入れる。その良さを認め合う。思いやりがあるクラスは、学び合いも深まる。



NO.516 2021年11月 大分市立神崎小学校

## 学びを深める

自分の考えを発言する。それぞれの思いや考えがつながり学びが深くなる。



NO.518 2021年11月 大分市立神崎小学校

## 考えを話す

自分の考えを話せるのは、一生懸命聴いてくれる友達がいるから。

### 授業から学ぶ

全ての教室を参観させていただきました。くらげチャート等の思考ツールや、ネームプレートの使用、ワークシートの工夫など、どの教室にも学びに向かう子どもの姿がありました。特に、6年生の漢字学習では、子どもが課題を引き受けていたので、辞書を使いながら自ら考えた「秘伝」を表現していました。

今後は、深い学びができたを確認するために、指導案の「振り返り」の記述は、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして、資質・能力の3本柱の視点でより具体的に表現してみてはいかがでしょうか。そして、教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議したりすることで、授業改善がより推進されると思いました。